

“備え”あつての安心ライフ

キャッシュレス時代の到来です。
上手に活用する方法を考えましょう。

キャッシュレス決済 浸透の軌跡

コンビニやスーパーでスマホ決済やクレジットカードを使う、鉄道には交通系ICカードで乗車する……。そんな風景が日常になってきました。なかでも、後払い方式のクレジットカードは比較的早くから浸透していました。ですが、大きな買い物などだけに使う特別なものという感覚を多くの方が抱いていたと思います。

そんななか、2001年に交通系ICカードのPayoニア、JR東日本のSuicaが登場。あらかじめお金をチャージして、そこから支払いをする前払い方式です。同様の仕組みで、イオングループのW.A.O.Nなど流通系の電子マネーが登場。このころから前払い式のキャッシュレスが定着していきました。

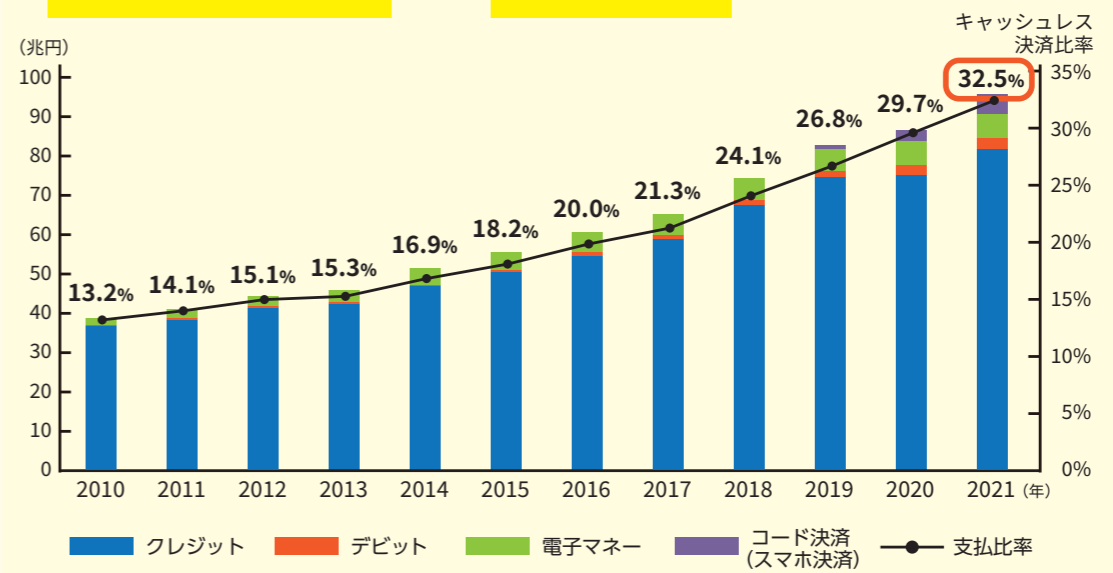
2010年ごろから徐々にスマホ決済が出てきます。当初は「知る人ぞ知る」存在でしたが、PayPayが2018年12月に実施した「100億円あげちゃうキャンペーン」で一挙に認知度が上がりました。

そのキャンペーンはスマホ決済利用額の20%がポイントとして還元されるほか、抽選で当たれば100%還元もあったので利用が殺到し、わずか10日間で終了。当時はテレビ番組でも取り上げられ、大きな話題を呼びました。

キャッシュレスの メリット・デメリット

キャッシュレス支払額および決済比率の推移

出典：2022年6月1日・経済産業省



キャッシュレス決済の メリットとデメリット

もともと日本は他国より現金利用が多く、キャッシュレス決済の浸透が進まなかった。国は「2025年までにキャッシュレス決済比率を40%に引き上げる」という目標を立てました。当初は、かなり厳しいとの指摘もありましたが、2020年以降の新型コロナウイルスの感染拡大で「非接触型決済」を求める方が増え、2021年には32.5%。目標に近づいてきたようです(上図参照)。

国が推進した理由として当時は、キャッシュレス決済に慣れている訪日外国人のインバウンド消費アップがあげられました。そのほか、レジのチェックなど現金管理業務の効率化、銀行ATMなどのコスト削減などです。

一方、利用する私たちにとっては、①現金より衛生的。②財布から小銭を取り出す手間がなく、支払いが楽にできる。③利用履歴が残るので、どこでいくら使ったかがわかりやすい。④割り勘などの際に個人送金が簡単に無料で行える、などがあるでしょう。

しかし、スマホ決済の種類が増え、選択がむずかしくなったり、デジタルに不慣れな方とのデジタル格差もあります。また、「お金を使った感覚が乏しい」と感じる方もいて、家計管理の課題も大きいでしょう。

生活経済ジャーナリスト
森本光由希



キャッシュレス時代の 家計管理とは

以前よりキャッシュレス決済を使うことが増えたのは、1位コンビニ、2位スーパーやショッピングモール、3位ドラッグストア、4位インターネット通販です(下図参照)。

確かにお昼ごはんを買うコンビニではスマホ決済を使い、スーパーでは系列の電子マネーなどと、生活のシーンとそこで使う決済手段が一致しているのではないかと思います。これを家計管理の糸口にしましょう。

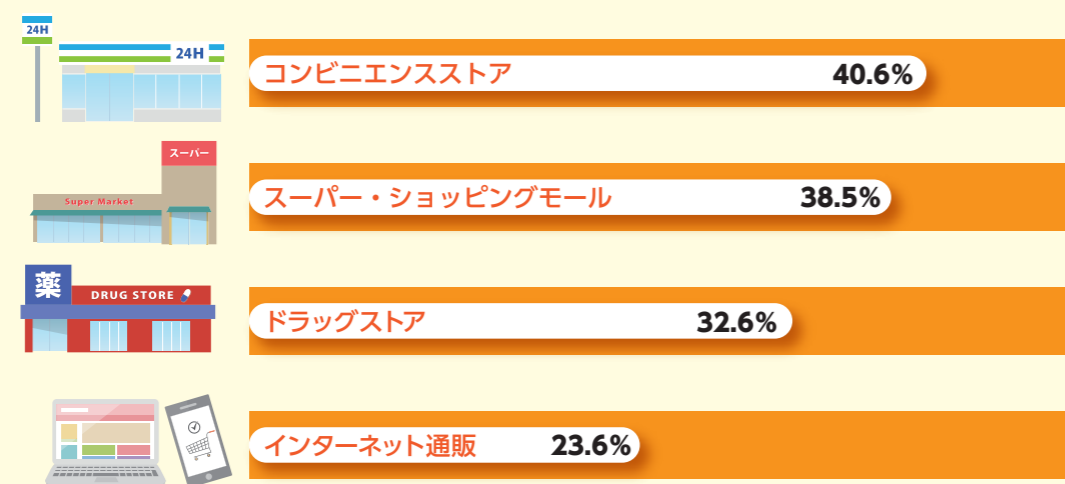
家計管理といえは、まず予算を立て、定期的に集計して、予算が守れているか検証することです。しかし、決済方法が多岐にわたると、たとえば食費の集計で、クレジットカードや電子マネーに現金と様々な決済手段から数字を拾わねばならない。手間がかかって、管理をあきらめてしまつてしまつてもなりません。

そこで、予算を支払方法ごとに立てましょう。職場近くでお昼ごはんをよく買うコンビニで使うスマホ決済は1カ月で〇〇円。週末に食品や日用品の買い出しを行うスーパーで使う電子マネーは〇〇円などです。これで予算管理がかなりシンプルになります。

決済手段は今後も進化していくでしょう。その都度、家計管理の方法も柔軟に見直して、簡単に管理しやすい方法へと進化させていきましょう。

キャッシュレス回数が増えた場所

キャッシュレス決済を利用している467人に「キャッシュレス決済の利用が増えた場所」を複数回答で聞いた結果。



出典：電通キャッシュレス・プロジェクト「第2回 コロナ禍における生活者のキャッシュレス意識調査」(2021年12月)



時代に合わせ、家計管理も進化すべし！
管理は「簡単でわかりやすく」が黒字化への近道



「備え」あつての安心ライフは今号で最終回となります。
これまでお読みいただきありがとうございました。

森本光由希 もりもと みゆき
生活経済ジャーナリスト、ファイナンシャルプランナー。暮らしに役立つ金融・経済の情報をメインテーマとして、幅広い分野で取材執筆活動を行っている。生活に根差したお金の問題を「生活者と同じ目線・経済感覚」でわかりやすく、使える情報として発信することがモットー。

メールマガジン会員募集中!

保険に関する身近な情報をはじめ、提携施設の期間限定キャンペーンなど、お得な情報を充実したラインナップでお届けします！
ご登録がお済みでない方はこの機会にご登録ください。

アドレス https://www.yuseifukushi.or.jp/jp_member/mailmag/

スマホは、
こちら



※メルマガ版のマネーコラムにつきましては、3月配信号までお楽しみいただけますのでぜひ登録ください。